



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE



Global Sustainable Investment Alliance



@GlobalSIF



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE

GSIAについて

GSIAは、サステナブル投資推進に取り組む世界各国・地域の団体がメンバーとなり、グローバルに協働する組織です。





GSIAとは

GSIAのミッションは、

サステナブル投資、責任投資、インパクト投資の実践をグローバルな協働により強化し拡大することです。

GSIAのビジョンは、

世界各国域で、サステナブル投資のコミュニティーを代表して推進する活発な会員組織により、サステナブル投資が金融システムとインベストメント・チェーンに統合された世界を目指すものです。



GSIAとは

The *Global Sustainable Investment Review*は、2年に一度発行され、
今回は第4回目のレポートとなります。



レポートには以下のウェブサイトからアクセスできます。

www.gsi-alliance.org

当レポートの発行に当たっては、以下のスポンサーに感謝します。

- Hermes Investment Management
- RBC Global Asset Management
- UBS



報告書ハイライト

The *Global Sustainable Investment Review 2018*は、以下のサステナブル投資フォーラムと調査パートナーによる各地域の市場調査結果をまとめたものです。

- 欧州
- 米国
- カナダ
- 日本
- オーストラリア並びニュージーランド

当レポートではそのほかに、ラテンアメリカにおける責任投資原則、またアフリカのインパクト投資バローメターに関するデータと洞察をカバーしています。



サステナブル投資戦略

- ネガティブ/除外 スクリーニング**: 一部のセクター、企業あるいはESG基準に基づく一定の慣行・事業のファンドあるいはポートフォリオからの除外
- ポジティブ/ベストインクラス スクリーニング**: 同業種比でESGのパフォーマンスに優れた企業あるいはプロジェクトに、ファンドあるいはポートフォリオで投資
- 国際的規範に基づくスクリーニング**: 国際的規範で商習慣での最低限とされる基準に基づく投資スクリーニング
- ESGインテグレーション**: インベストメント・マネージャーによる財務分析にESG要因を明確な体系的に一体化して組み込む投資
- サステナビリティ・テーマ型投資**: サステナビリティに明確な関係があるテーマあるいは資産に対する投資(例えば、クリーン・エネルギー、持続可能な農業)
- インパクト/コミュニティ投資**: 社会や環境の問題を解決する目的に絞った投資(十分な社会的サービスを受けられないコミュニティに対するものなど)
- 企業エンゲージメント**: ESG方針に沿って企業に対し、直接エンゲージメント、株主提案、議決権代理行為を行うことで、株主の企業行動に与える影響力の行使

報告書ハイライト

グローバルなサステナブル投資 2016–2018

FIGURE 1: SNAPSHOT OF GLOBAL SUSTAINABLE INVESTING ASSETS, 2016–2018

Region	2016	2018
Europe	\$ 12,040	\$ 14,075
United States	\$ 8,723	\$ 11,995
Japan	\$ 474	\$ 2,180
Canada	\$ 1,086	\$ 1,699
Australia/New Zealand	\$ 516	\$ 734
TOTAL	\$ 22,890	\$ 30,683



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE

各地域のサステナブル投資資産の伸び (各地域通貨単位、2014–2018)

**FIGURE 2: GROWTH OF SUSTAINABLE INVESTING ASSETS
BY REGION IN LOCAL CURRENCY 2014–2018**

	2014	2016	2018	Growth Per Period		Compound Annual Growth Rate (CAGR) 2014–2018
				Growth 2014–2016	Growth 2016–2018	
Europe	€ 9,885	€ 11,045	€ 12,306	12%	11%	6%
United States	\$ 6,572	\$ 8,723	\$ 11,995	33%	38%	16%
Canada (in CAD)	\$ 1,011	\$ 1,505	\$ 2,132	49%	42%	21%
Australia/New Zealand (in AUD)	\$ 203	\$ 707	\$ 1,033	248%	46%	50%
Japan	¥ 840	¥57,056	¥231,952	6692%	307%	308%

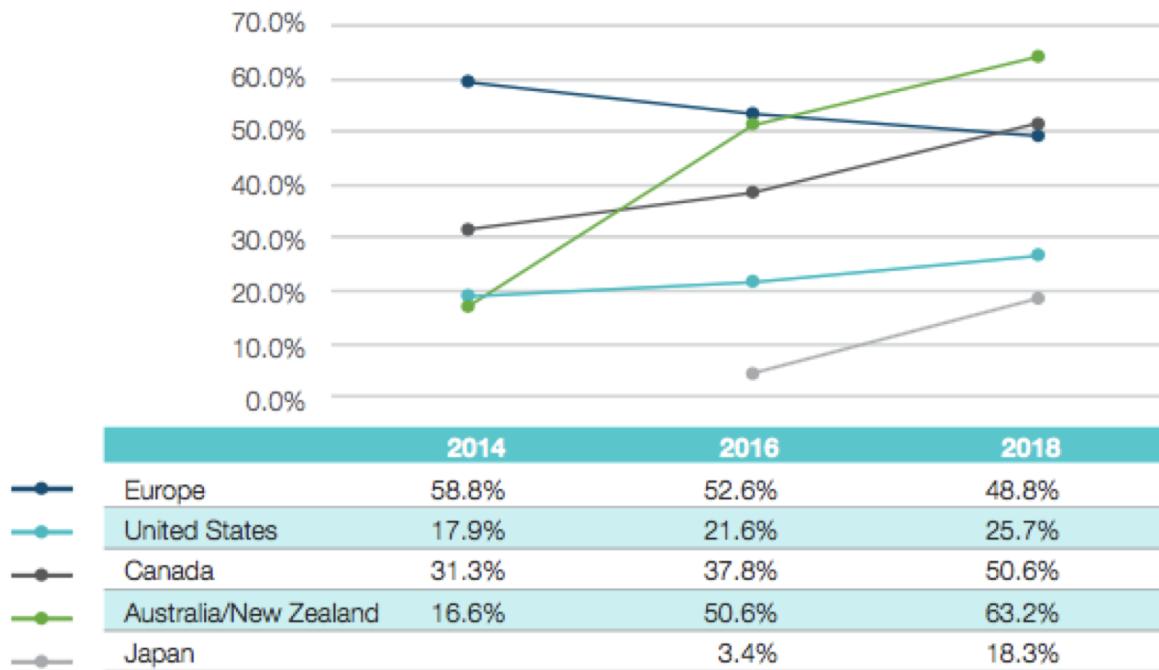
Note: Asset values are expressed in billions. All 2018 assets in this report are as of 12/31/17, except for Japan, whose assets are as of 3/31/18.



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE

運用資産に占めるサステナブル投資の比率 2014-2018

FIGURE 3: PROPORTION OF SUSTAINABLE INVESTING RELATIVE TO TOTAL MANAGED ASSETS 2014-2018



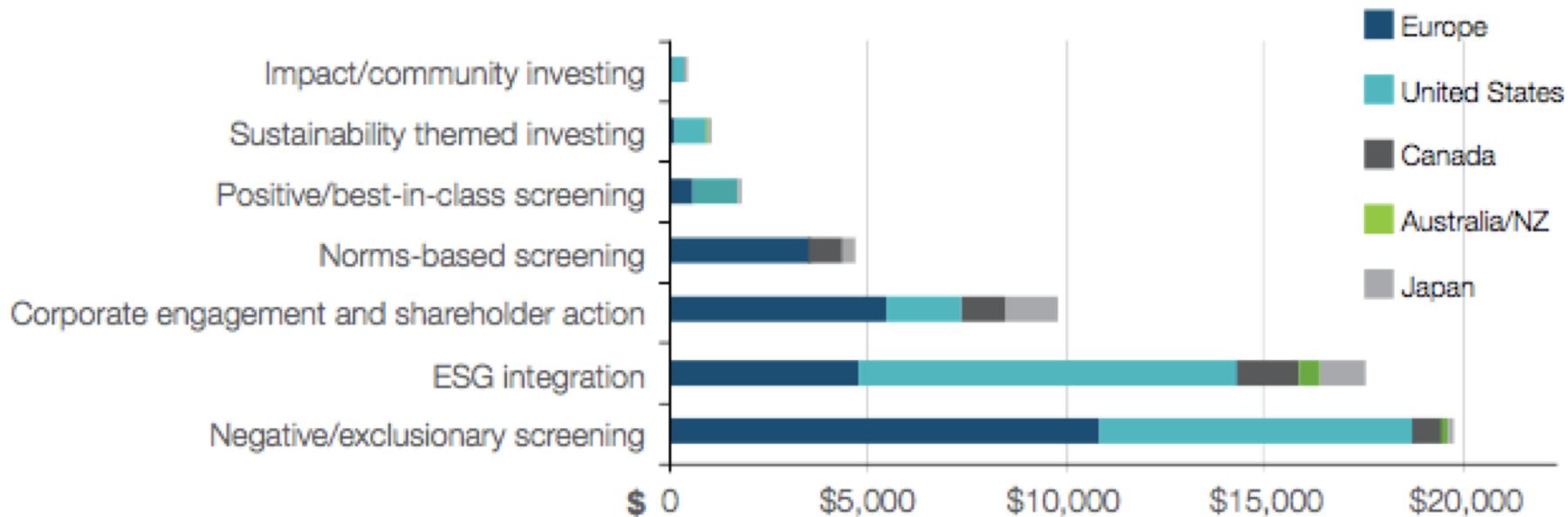
Note: In 2014, data for Japan was combined with the rest of Asia, so this information is not available.



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE

サステナブル投資資産の投資戦略の地域比較 2018

FIGURE 5: SUSTAINABLE INVESTING ASSETS BY STRATEGY AND REGION 2018



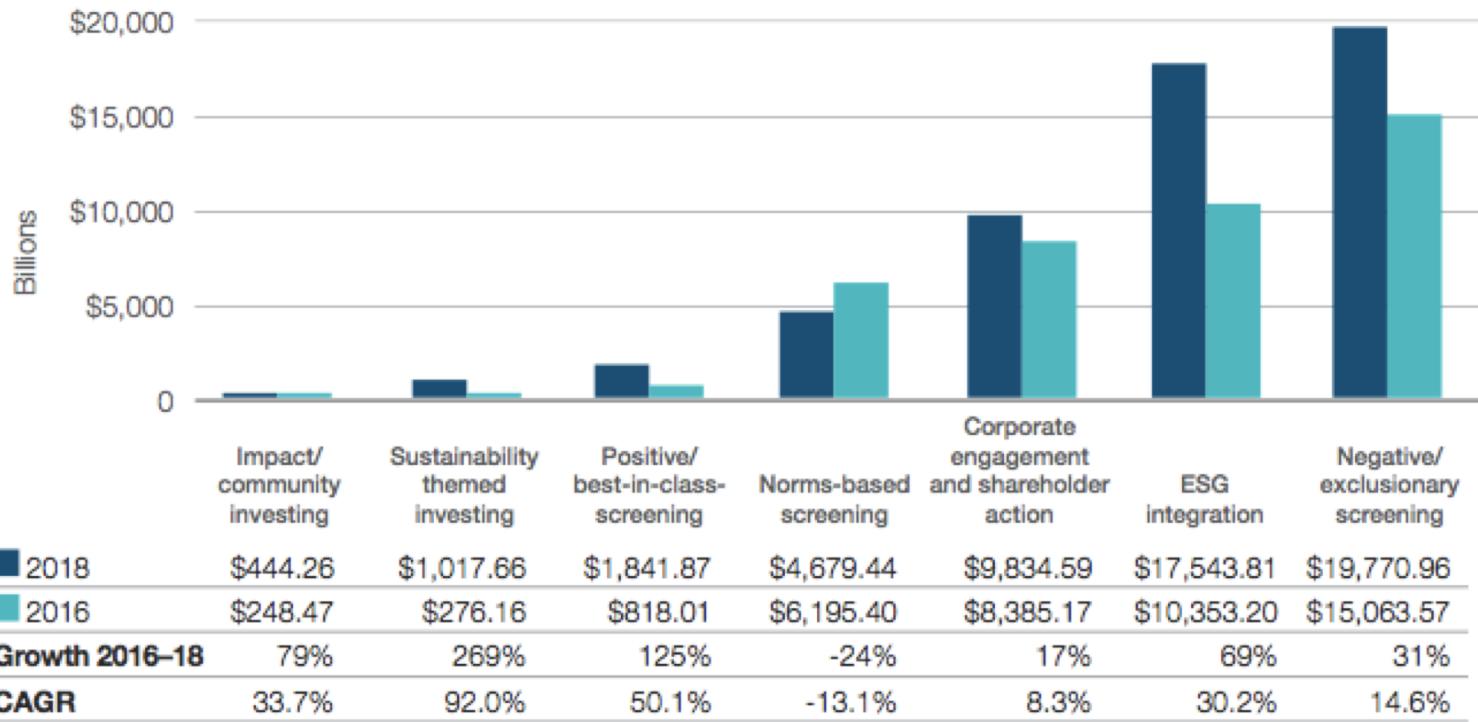
Note: Asset values are expressed in billions of US dollars.



GLOBAL SUSTAINABLE INVESTMENT ALLIANCE

サステナブル投資のグローバルな伸び 2-16^2018

FIGURE 6: GLOBAL GROWTH OF SUSTAINABLE INVESTING STRATEGIES 2016–2018



Note: Asset values are expressed in billions.

Some corrections to the 2016 strategies have been made. See the Methodology section for more information.

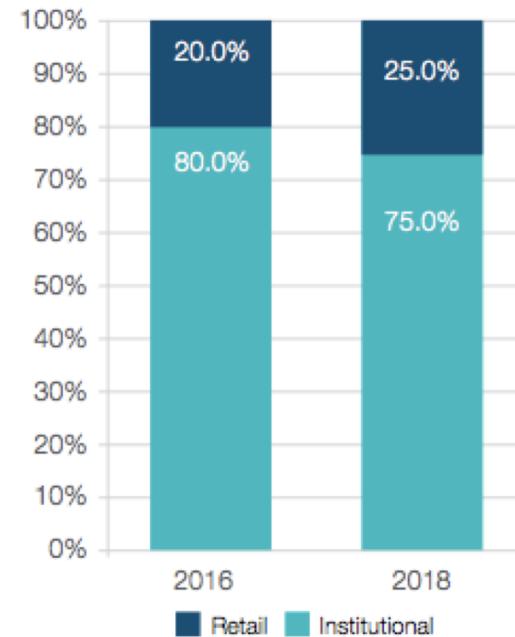


報告書ハイライト

機関投資家と個人投資家

- ・ サステナブル投資に対する個人投資家の関心また個人向け金融商品は当報告書が2012年にスタートした時点から伸びを示している。
- ・ 2018年年初には、個人投資家の比率は25%まで拡大。
- ・ 2016年と比べて、2018年には多くの地域で個人投資家のデータを集めるようになっている。

FIGURE 8: GLOBAL SHARES OF INSTITUTIONAL AND RETAIL SUSTAINABLE INVESTING ASSETS 2016–2018



Note: Institutional and retail investor data were not collected in Australia/New Zealand.



欧洲のハイライト

- 欧州のサステナブル投資資産は合計で€12.3兆(\$14.1兆)と、世界最大となっている。
- しかし、サステナブル投資の資産全体に占める割合は53%から49%へわずかに減少した。その要因はサステナブル投資の定義・基準がより厳密になったためと考えられる。
- 企業エンゲージメントに取り組む資産はほぼ€5兆となった。一方でネガティブ・スクリーニングは、2018年年初に少し減少し€9.5兆となった。
- 大きく減少したのは国際的規範に基づくスクリーニングであり、2018年には€3.1兆と、2016年比で38%の減少となった。
- **注目すべき進展：**
 欧洲議会は3月にSustainable Finance Action Planに基づき、運用会社によるESG報告基準のルールを採択した。



米国のハイライト

- ・ サステナブル投資資産は、2016年の\$8.7兆から2018年に\$12.0兆へと38%拡大した。
- ・ 米国の機関投資家による運用資産に占めるサステナブル投資資産は、2016年の22%から2018年には26%を占めるようになった。
- ・ ESGインテグレーションが最大の投資戦略であり、\$5.8兆の資産に適用されていると推定される。ネガティブ・スクリーニングがこれに続き、\$3.6兆と推定される。
- ・ 運用会社とアセット・オーナーによるESG課題に関する(共同)株主提案議案は2016-2018で\$1.8兆となっている。
- ・ ESGの大きな課題は、気候変動、たばこ、紛争リスクである。
- ・ 最大の動機は、顧客からの要請である。また回答した運用資産会社の半数以上が、ミッション、リターン、リスク、インパクト、フィジューシャリー・デューティとしている。
- ・ 複数の投資戦略によるダブル・カウンティングを除いたネットの資産額は、\$12.0兆となった。
- ・ 注目すべき進展:

上院の銀行委員会並びに下院の金融サービス委員会のどちらも、サステナブル投資・ESGの開示について調査中である。



日本のハイライト

- ・ 日本ではサステナブル投資資産が、2018年には2016年比で4倍となり、機関投資家の運用資産に占める比率はわずか3%から18%へと伸びた。
- ・ この伸びで、日本はサステナブル投資で欧州と米国に次ぐ3番目に大きな市場となった。
- ・ サステナブル投資のうち最大の投資戦略は、企業のエンゲージメント・議決権行使であり141兆円、ESGインテグレーションが122兆円でこれに続く。
- ・ 過去数年で、日本におけるサステナブル投資には、いくつかの進展がみられ顕著な拡大につながった。
 - ・ 安倍政権による政策
 - ・ 2つのアセット・オーナー(GPIFと企業年金連合会)による取り組み・活動



カナダのハイライト

- ・ 少なくともひとつの責任投資戦略により運用させている資産は、2016年年初のC\$1.5兆から2018年年初にはC\$2.1兆へ42%の拡大となった。
- ・ この2年でカナダの機関投資家による運用資産に占める責任投資は38%から51%となつた。
- ・ カナダの運用資産額で最も顕著な責任投資の戦略は、ESGインテグレーションであり、採用されている資産はC\$1.9兆。
- ・ 次に顕著な責任投資戦略は、企業へのエンゲージメントである。
 - ・ 企業へのエンゲージメントで課題で多いのは、企業のガバナンス、気候変動、役員報酬である。
- ・ **注目すべき進展：**
カナダのサステナブル・ファイナンスの専門委員会は、最終報告を4月にまとめる。



オーストラリアとニュージーランドのハイライト

- ・ 責任投資のアプローチは、全てのポートフォリオでESGを体系的に考慮する投資と倫理要因を考慮する投資のそれぞれが、2カ国の機関投資家が運用する資産のうち、2016年には51%であったが、2018年には63%を占めるようになった。
- ・ サステナブル投資は両国の合計で2016年から46%の伸びとなりAUS\$1.0兆となった。
- ・ オーストラリアでは責任投資運用資産の78%が、RIAAの定義する“広義の”ESGインテグレーションと企業エンゲージメントで運用されている。
- ・ ニュージーランドでは、広義の責任投資のアプローチが責任投資資産の53%を占める。
- ・ 注目すべき進展：

ニュージーランドとオーストラリアの両国では、サステナブル・ファイナンスを支援する政策がある。EUのハイレベル専門家グループをモデルにして、オーストラリアのサステナブル・ファイナンス・イニシアティブとニュージーランドのサステナブルファイナンス・フォーラムが最近スタートした。